

## 放射性廃棄物の保管状況 (2023年3月31日現在)

弊社は、核燃料物質の使用許可を有し、核燃料物質を用いた試験・研究を行っています。試験・研究の実施等に伴って放射性廃棄物が発生しますが、この放射性廃棄物は最終処分までの間、弊社の保管場所で保管することとなります。放射性廃棄物の保管状況は以下の通りです。

### [東海地区]

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 保管場所 | 廃棄物保管庫、燃料ホットラボ施設 (貯蔵プール)   |
| (2) 保管容器 | 低レベルA : 20リットルSUS缶 (貯蔵プール内)<br>20リットルSUS缶入りキャスク (廃棄物保管庫内)<br>低レベルB : 200リットルドラム缶 (廃棄物保管庫内)<br>: フィルタ専用保管容器 (廃棄物保管庫内) |
| (3) 保管能力 | 低レベルA : 200リットルドラム缶換算83本相当<br>低レベルB : 200リットルドラム缶3210本   |
| (4) 保管数量 | 低レベルA : 200リットルドラム缶換算32本相当<br>低レベルB : 200リットルドラム缶換算2657本相当   |

注) ・低レベルA : 主にホットセル内で発生した廃棄物      ・低レベルB : 上記以外の廃棄物



200リットルドラム缶及びフィルタ専用保管容器の保管状況



20リットルSUS缶入りキャスクの保管状況

### [大宮地区] (大宮地区研究施設解体時の廃棄物を保管)

- |          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| (1) 保管容器 | ボックスパレット (角型容器)                   |
| (2) 保管数量 | 1,180個 (200リットルドラム缶換算 : 9,196本相当) |